

にしとべの丘

われ ただたるをしる
ワレ、タダ足ヲ知ルこうちょう いしかわ ひろし
校長 石川 博

あたら とし むか ほんねん ねが
新しい年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、ついたち お の とほんとうじしん まん にん かたがた ひなんせいかつ よぎ
1日に起こった能登半島地震で2万8000人の方々が避難生活を余儀なくされ、また、被害
ぜんよう あき らかにならず けうきつどう なんこう なるし さい ねが
の全容も明らかにならず救助活動も難航していると聞きます。震災にあわれた方々に心よりお見
まい もう あ える にち はや ふつきゅう ねが
舞い申し上げるとともに、1日も早い復旧を願うばかりです。

また、いすらえる がざちくしんこう ろしあ うくらいなしんこう まいにち ほうどう
イスラエルによるガザ地区侵攻やロシアのウクライナ侵攻も毎日のように報道されます。
ぶんそう かん い ばれすちな うくらいな かぎ せかい
紛争に関して言えば、パレスチナやウクライナに限ったことではなく、世界のいたるところでおこ
っています。

さいがい おお じこ せんそう ふんそう にちじょうせいかつ いっぺん かんが あきお
災害や大きな事故、戦争や紛争にまきこまれると日常生活が一変します。そう考えると、朝起
きて、ごはん た べ、がっこう に行き、いちにち しごと お きて 帰宅し、ごはん た べ、ふろ はい ね
きた毎日繰り返される日常がなんとありがたいことかと思ひます。

しんねんさいしょ どうこう のひ ちようかい はなし
新年最初の登校の日、朝会で「吾唯知足（われ、ただ、たるをしる）」の話をしました。「吾唯
知足」は石庭で有名な京都の龍安寺にあるつくばいに刻まれた文字としても知られています。日本
では禅宗の教えや茶道にもそのかんが かと と い ちゅうごく しゆんじゆう
じだい しそうか ろうし きげんぜん 5せいきころ ことば た し もの つと おこな
時代の思想家である老子（紀元前5世紀頃）の言葉だそうです。「足るを知る者は富み、努めて行
う者は 志 有り」。満足することを知っている者は心の豊さがあり、努力する者にこそ本当の
こころざし げんじよう まんぞく こうじようしんひてい
志がある。このことから、ただ現状に満足せず、向上心否定するものではありません。自分
の境遇やあたりまえの日常に感謝し、「足るを知る」生き方をすると精神的な豊かさを感じるこ
とができ、さらには自分の周りの人とのかんけい ぶつしつてき ゆた かん
とができ、さらには自分の周りの人との関係や物質的な豊かさも味わえるようになるのではないで
しょうか。

げんだい もの じようほう み ろうし じだい
現代ではモノや情報が満ちあふれています。老子の時代にはなかったものがたくさんあります。

それどころか、3、4年前には考えられなかった教室での
ひとり だい たんまつ ねんご きようしつ いま かんが
一人1台の端末。10年後の教室には今は考えられないものがある
でしょう。ひび あたら もの じようほう よ なか でまわ
日々、新しいモノや情報が世の中に出回ってきます。
これらを おもと だれ でも する こと でしょうが、「た
る」ことを知らないときりがありません。他人と比べたくなり、
それが ストレス となり、けっかけてき こうふく い じんせい
それがストレスとなり、結果的には幸福とは言えない人生になっ
てしまうことでしょう。

いつ、なにがあるかわからないからこそ、あたりまえの日常
かんしや た し たいせつ おも
に感謝し、「足る」ことを知ることも大切なのだと思ひます。



ねんせい 2年生 救命救急講習



12月13日、2年生が救命救急講習を受講しました。はじめは視聴覚室で応急手当の必要性などの説明がありました。その後、体育館へ移動。グループに分かれて実技講習を受けました。訓練用人形を使い、胸部圧迫やAEDでの救命活動を行いました。1分間の胸部圧迫は「思った以上に力を使った」「1分がとても長く感じた」などの声が上がりました。適切な応急手当てにより傷害の悪化を防止することができることを体験的に学ぶことができました。

ねんせい 1年生 総合的な学習の時間

西区は今年、区制80周年となります。現在、1年生は総合的な学習の時間において、西区制80周年を盛り上げるために、自分たちでできることを考えています。12月15日(金)、生徒たちが調査を進める中で疑問に思ったことについて、関係機関の方々が来校し、答えてくださいました。いらっしゃる方は西区地域振興課、区制推進課、保健福祉課など、計8名の方々。区内内の施設管理、環境、商店街・イベント、この三つの話題について回答してくださいました。疑問に感じたことに答えてくださるだけでなく、さらに追加情報も提供していただき、とても有意義な学習となりました。80周年を盛り上げるため、今後も活動を続けていきます。



ねんまつ 年末 学年レク



12月下旬、各学年の学級委員が中心となって学年レクを行いました。1年生は20日(水)に、2年生は21日(木)に行いました。3年生は19日(火)に「仲間言葉探し」「私は誰でしょう?先生バージョン」を行いました。「仲間言葉探し」は、ひとりずつランダムにカードを取り、そのカードに書かれた単語と関連する言葉が書かれたカードをとった人を探します。(例えば「スプーン」のカードを取った人は「フォーク」を取った人を探します)制限時間内にペアを見つけるため、みんな必死でした。

「私は誰でしょう?先生バージョン」はその先生に関する情報を3ヒントで出し、各グループが正解を考えます。「中学の時、吹奏楽部でホルンを演奏しました」や「東京オリンピックでボランティアをしました」など、興味深いヒントがたくさんで、生徒たちも興味津々といった様子でした。ゲームの進行役を務めた生徒は「受験前なので怪げなく、みんなが楽しめるレクを目指しました。ねらい通りにみんなが楽しんでくれてよかったです」と感想を述べました。受験を控え、努力を重ねる日々が続く中、学年レクの楽しい時間がリフレッシュにつながったようでした。





コラム「食で学ぶ 食を学ぶ」1月号

もとよこはましきょういくいいん ながしま ゆか
元横浜市教育委員 長島 由佳

新春、海に囲まれた日本列島の海岸沿いでは、自然の脅威にさらされました。そして国土の狭さから、拡大した土地での事故に、自然の姿を変えたものの責任のようなものを感じさせられました。しかし、そんなことがあろうと、こどもたちは成長して行きます。その育ちを止めることはできません。だからこそ、私たち大人はその言動に責任を持たねばと肝に銘じ、早い復旧と復興を願わずにはいられない年初めとなりました。

さて、そんな新年、実家に家族が集まりました。兄弟姉妹・甥姪が年老いた父を囲む時間の中で、あの頃はどうかだったと会話に、記憶が音や香り・味とともにある事を改めて実感しました。

新年といえば「お雑煮」です。我が家は関東風のため、焼いた角餅です。鰹だし汁で大根・里芋・豚肉を炊き、三つ葉とナルトをあしらいます。母が鶏肉を食さなかったため豚肉でした。母なき今でも、豚・大根の組み合わせが新年のことはじめと舌が覚えており、鶏など他の具材を使う事ない年初めとなります。

これこそが、脳が記憶した味と香りであり、そこには家族の顔とおもちの数などがいっしょにセットされているのです。年中行事や日々の所作は、「音・香り・味」とともに目の奥に記憶されます。視覚・聴覚・臭覚・味覚そして触覚をフル活用している事を感じて欲しいと思いました。

先日、高校生に家庭のお雑煮アンケートを取った際、半分ぐらいのご家庭は雑煮は食しても1日のみ、あとは海苔もちや安倍川餅・あんこ餅などを食している様子を知りました。お節料理をさまざまなメーカーに注文する家庭も多くなり、家庭の味というよりも名店の味となっています。しかしそれもまた、家庭で言葉のコミュニケーションのツールとなります。家庭の時間を素敵なコミュニケーションでいっぱいにしていただければと思います。

子育て真っ盛りの頃、お餅があるとよく作った朝食を紹介します。お弁当でポテトフライや唐揚げを作るついでにお餅を揚げて、揚げ餅雑煮にします。次男が朝からお餅を三つも四つも食していたのを思い出します。食する側だけがその記憶を残すのではなく、作り手にとっても良き思い出となる事を感じる時間であり、ふと笑みを浮かべられる至福の時間であることに気づきました。

今年1年、皆様の環境がより良きものであり、全ての子どもたちの未来が明るいものである事を願います。

あげ餅雑煮 もしくは 揚げ餅あんかけ



材料：切り餅（個包装の切り餅なら1/2にカットしたもの）適宜

お好みのだし汁と具（大根・きのこ・白菜・鶏肉・豚肉などなんでもよし）

※けんちん汁や豚汁・鍋物の汁の残りなどの活用もあり。

大根おろしでもよいし、あんかけもよし

作り方：油を170度に熱し、餅を離して投入する。ぷくっと表面に膨れた跡ができれば上がっているの、取り出します。お椀に揚げ餅を入れ、お好みのスープやあんかけ（水溶き片栗であんかけにしたもの）などをかける。